平成２７年度　事務事業評価シート

章	9	その他の事業
節	－	－
施策	－	－
目標		－

NO	施策	事業名【事務事業コード】	部名及びグループ名		開始年度	終了年度	事業区分	会計種別	Plan ・ Do																		Check			Action
									事業概要				事業の成果、目標								各年度の決算額、当該年度の予算額、今後の予算案 【 単位 ： 千円 】										第2期基本計画第3次実施計画期間中（H24～H27）における事業内容の変更・改善等の状況		評価	評価の判断理由、特記事項など（妥当性、有効性、効率性、成果）	今後の事業の方向性【H28以降】
									事業の目的	年度	対象者等 ※ハード事業の場合は、施設名を記載	事業の内容	根拠法令、条例、要綱等	指標名	単位	H25実績	H26実績	H27目標	H28目標	H29目標	H30目標	名称	H25決算	H26決算	H27予算	H28予算案	H29予算案	H30予算案					
1	－	幌別駅自由通路耐震補強事業負担金	総務部	契約・管財G	H25	H27	ソフト	一般会計	ＪＲ利用者並びに幌別駅自由通路利用者の安全性、併せて列車運行の安全性を確保することを目的とする。	H25	JR利用者並びに幌別駅自由通路利用者	ＪＲ北海道が駅舎と自由通路を併せた耐震補強工事に係る実施設計を実施し、登別市が管理している自由通路部分を床面積割合等で費用負担を行った。	建築物の耐震改修の促進に関する法律	【耐震指標判定】 地震の震動及び挙動に対して倒壊し、又は崩壊する危険性についての判定 判定1：危険性が高い 判定2：危険性がある 判定3：危険性が低い	判定	2	2	3	3	3	3	国庫支出金								H25以前	ＪＲ北海道と事実実施に向けた調整を実施。	終了	幌別駅自由通路は、線路上空の建築物であることから、想定される最大級の地震発生時における旅客等の人命確保及び列車運行の安全性の確保並びに通行者の安全性を確保する必要がある。	平成27年度で事業終了。
																				道支出金												
										H26	上記のとおり	ＪＲ北海道の都合により未実施	上記のとおり							地方債		2,300		52,300				H26	上記のとおり			
														－	－	－	－	－	－	その他												
										H27	上記のとおり	ＪＲ北海道が駅舎と自由通路を併せた耐震補強工事を実施し、登別市が管理している自由通路分を床面積割合等で費用負担を行う。 また、屋上防水塗装、内外装改修等を実施し、公共施設の長寿命化を図る。	上記のとおり							一般財源		834		17,502				H27	上記のとおり			
		99999174																		合　計		3,134	0	69,802	0	0	0					
2	－	行政評価経費	総務部	企画調整G	H24	－	ソフト	一般会計	行政が実施する政策、施策、事務事業について、「期待どおりの効果があがっているのか」「計画等で設定した目標を達成するための手段として適切か」など様々な観点から、客観的に評価・検証し、その評価結果を行政運営に反映させることを目的とする。	H25	市民	登別市行政評価システム等に基づき次のとおり実施した。 ・事務事業評価を実施し、結果を市民へ公開するとともに、パブリックコメントの募集等を行った。 ・市民3,500人を対象に登別市総合計画・第２期基本計画の３章から６章に掲載される各施策に対する満足度や重要度等の調査を行った。	行政評価システム基本方針、登別市行政評価実施要綱、登別市行政評価外部評価委員会設置要綱	まちづくり意識調査における調査票回収人数	人	968	0	0	－	－	－	国庫支出金								H25以前	登別市外部評価委員会のあり方や外部評価の実施方法の検討や、事務事業評価調書の一部変更を行った。	改善	市が実施する政策、施策、事務事業の成果を様々な観点から、客観的に評価・検証し、市民への説明責任を果たすことは市の責務であり、事業を継続する必要性がある。 評価結果が行政運営に十分反映できるよう行政評価システム等の見直しを検討する。	行政評価システムの運用を通じて、客観的に施策や事務事業の評価・検証を行い、評価結果を行政運営に反映させるよう努めていく。 また、質の高い行政サービスの実現や市民の市政に関する透明性を確保するため平成２８年度は『まちづくり意識調査』と『市民ニーズアンケート調査』を統合し、新設される「まちづくり意識調査経費」において、より効果的なアンケート調査の実施に努める。
																				道支出金												
										H26	上記のとおり	登別市行政評価システム等の見直しを行うとともに、次のとおり実施した。 ・事務事業評価シートを作成し、結果を市民へ公開するとともに、パブリックコメントの募集等を行った。	上記のとおり							地方債								H26	行政評価システム等の見直しを図り、新たな仕組みによる事務事業評価を実施した。			
														－	－	－	－	－	－	その他												
										H27	上記のとおり	上記のとおり	上記のとおり							一般財源		427	0	0	－	－	－	H27	上記のとおり			
		99999309																		合　計		427	0	0	0	0	0					
3	－	旧国体事務所解体事業	総務部	契約・管財G	H26	H26	ハード	一般会計	旧国体事務所及び附属建物を解体することにより、遊休土地の有効活用を図ることを目的とする。	H25				解体が必要な施設	箇所	1	0	0	0	0	0	国庫支出金								H25以前	建物解体後の当該地の有効活用について検討を実施するとともに、地元町内会等と調整を実施。	終了	施設の解体が終了した。（平成27年度土地売却済み。）	平成26年度で事業終了。
																				道支出金												
										H26	旧国体事務所及び附属建物	旧国体事務所の解体工事を行った。								地方債								H26	上記のとおり			
														－	－	－	－	－	－	その他												
										H27										一般財源			17,356					H27				
		99999327																		合　計		0	17,356	0	0	0	0					